

江戸っ子が好んだ 天ぷらと寿司



『すし 天ぷら 蕎麦 うなぎ
ー江戸四大名物食の誕生ー』
飯野亮一/著 ちくま学芸文庫

江戸時代から明治時代にかけて
屋台を中心にファストフードとして
人気を博していった天ぷらと寿司。
その歴史について解説します。



令和7年3月23日(日)14時～15時30分

講師:飯野 亮一氏(食文化史研究家)

早稲田大学第二文学部英文学専攻卒業。明治大学文学部史学地理学科卒業。
主な著書に『すし 天ぷら 蕎麦 うなぎー江戸四大名物食の誕生ー』『居酒屋の
誕生ー江戸の呑みだおれ文化ー』『天丼 かつ丼 牛丼 うな丼 親子丼ー日本五大
どんぶりの誕生ー』『晩酌の誕生』(いずれもちくま学芸文庫)など多数。

詳しくは図書館ホームページ

会場:船橋市西図書館 3階多目的室

対象:どなたでも

定員:30名(事前申込・先着順)

参加費:無料

申込:令和7年3月1日(土)9時30分～

船橋市西図書館1階総合カウンター、または電話(047-431-4385)にて受付

